

各巻ごとの分売可

十五年戦争 極秘資料集

補巻
40

特調班月報・通訊

全4冊 三好章 解説

本体価格 第1・2冊 各14,000円＋税 第3・4冊 各18,000円＋税

上海日本総領事館特別調査班（のち上海日本大使館特別調査班）が編集刊行した、日中戦争下の秘扱い中国情報誌を復刻。現在では入手困難な中国の新聞雑誌記事を多く含んだ重要資料である。

★十五年戦争極秘資料集全30集の完結後、新たに発見された資料・文書を基に、補巻として刊行。未公表「極秘」文書を復刻し解説を付して刊行！

不二出版

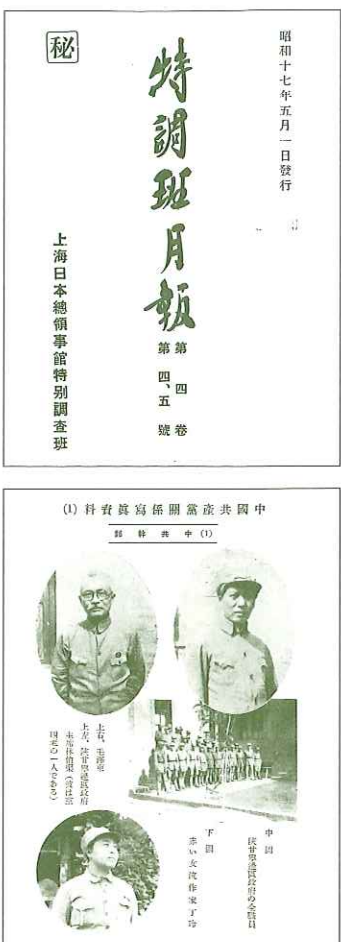
●復刻の辞

『特調班月報』『通訊』は、上海日本総領事館特別調査班（「特調班」、のち上海日本大使館特別調査班）が編集刊行した、日中戦争下の中国情報誌の一つである。表紙裏に「本報（本通訊）は其の材料概ね蔣政権圈内奥地より秘密裡に入手し居るものにして其の入手経路を保護するために出所を秘密にする要あるほか従来の公情報に代はるものにもあり旁々取扱には特別の注意を払はれたし」とあるように、中国の動向を知るための参考資料として、秘扱いで関係機関に配布されていた。

特調班は、一九三八（昭和一三）年二月に副領事として上海日本総領事館に赴任した岩井英一が組織したもので、一九三九（昭和一四）年九月より『特調班月報』を、一年後の一九四〇年九月に『通訊』をあわせて刊行した。

この両誌には、現在では入手困難な中国の新聞雑誌の論説記事を多く含んでおり、特に『特調班月報』は論説を主体に収録、『通訊』は新聞からの記事を収録している点に特徴がある。また、日本軍の支配が及ばない国民党統治下の地方や中共支配下の解放区の記事も含んでおり、大変貴重である。

小社では、同誌を四面付けに編集復刻し、新たに解題・総目次を付して刊行するものである。



●推薦の辞

『特調班月報』『通訊』復刻に寄せて

——本庄比佐子（東洋文庫研究員）

『特調班月報』『通訊』は、先に復刻刊行された興亜院の『情報』と同じく、日中戦争期に日本の政府機関が発行した中国情報誌で、上海日本総領事館特別調査班（のち上海日本大使館特別調査班）の編集・刊行によるものである。

両誌はいずれも「奥地」（国民党・共産党それぞれの支配地域）で刊行の新聞雑誌の論説・記事から編集されているが、『特調班月報』は論説が主で『通訊』は記事中心であると言える。特調班が入手し得た新聞は120種にのぼり、それは「支那奥地近状」（のち「奥地各省の種々相」と題する新聞記事集成に反映されている。首都の重慶地域だけでなく雲南・広西・甘肅など各地の新聞から採録している。

これら新聞類のなかには、各種資料がかなり自由に探せる現在でも見つけることの困難なものもあると思われる、日中戦争期の中国を検討する際の資料の一つとなろう。また、日本の政府・軍部諸機関はさまざまな手段で中国の動向に関する情報収集を行っていたことは知られているが、それら各種情報を総合的に分析する際に不可欠な基本的資料が新聞・雑誌から得られる情報であったという。先の『情報』と併せて、『特調班月報』『通訊』の情報が当時の日本の対中認識、対中政策形成に果たした意味を検討する資料の一つとして利用されることが望まれる。

●十五年戦争極秘資料集

補巻① 40

表示価格はすべて税別

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1031-0 18,000円	② 毒ガス戦関係資料Ⅱ 吉見義明・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1032-9 18,000円	③ 思想彙報Ⅱ 荻野富士夫 編・解説 ISBN4-8350-1033-7 15,000円	④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書 昭和18年 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1034-5 15,000円	⑤ 第2次上海事変における第九師團司令部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1035-3 18,000円	⑥ 盧溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1036-1 9,000円	⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 ISBN4-8350-1037-X 9,000円	⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書Ⅱ 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1038-8 9,000円	⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1039-6 9,000円	⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1040-X 9,000円	⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1041-8 9,000円	⑫ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覽 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1431-6 9,000円	⑬ 満洲事変日誌記録 全3冊 芳井研一 解説 全3冊揃 ISBN978-4-8350-6249-5 6,600円	⑭ 戦場心理の研究 全4冊 岡田靖雄 解説 全4冊揃 ISBN978-4-8350-6244-0 6,600円	⑮ 大同保育隊報告 藤野 豊 編・解説 ISBN978-4-8350-6243-3 1,500円	⑯ 外邦測量沿革史 草稿 全4冊 別冊一 小林 茂 解説 全5冊揃 ISBN978-4-8350-6237-2 113,000円	⑰ 陸軍省「調査彙報」全5冊 別冊一 松野誠也 編・解説 全6冊揃 ISBN978-4-8350-5834-4 76,000円	⑱ 資料集成 戦争と障害者（第一期）全7冊 清水 寛 編 全7冊揃 ISBN978-4-8350-5758-3 140,000円	⑲ 陸軍省「調査彙報」全5冊 別冊一 松野誠也 編・解説 全6冊揃 ISBN978-4-8350-5834-4 76,000円	⑳ 関東軍化学部・毒ガス戦教育演習関係資料 松村高夫・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-5856-6 20,000円	㉑ 五・五事件期憲兵司令部関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-5855-8 12,000円	㉒ 宣撫月報 全8冊 別冊一 山本武利 解説 全9冊揃 ISBN4-8350-5845-0 145,000円	㉓ 山東出兵時における「第三師團特種研究記事」 福島幸宏 編・解説 ISBN4-8350-4750-8 28,000円	㉔ 情報 三好 章 解説 全10冊揃 ISBN978-4-8350-6256-3 139,000円	㉕ 南満洲鉄道株式会社 帝國議會説明資料・別冊 芳井研一 解説 ISBN978-4-8350-6257-9 12,000円	㉖ 陸軍経理学校五十年史 全3冊 中野 良 解説 全3冊揃 ISBN978-4-8350-6829-9 99,000円	㉗ 「研究蒐録 地図」全3冊 小林茂・渡辺理緒 解説 全3冊揃 ISBN978-4-8350-6833-6 54,000円	㉘ 東京時事資料月報 芳井研一 解説 ISBN978-4-8350-6837-4 12,000円	㉙ 特調班月報・通訊 全4冊 三好 章 解説 全4冊揃 ISBN978-4-8350-6839-8 64,000円	以後新資料発見次第、逐次刊行予定
---	---	---	--	---	--	---	---	--	---	---	--	---	--	---	---	--	---	--	---	--	---	--	--	---	--	--	---	--	------------------

通 訊

臨時特輯・第五號

在上海日本大使館特別調查班

(取扱要 注意)



民國三十二年度

陝甘寧邊區政府工作報告

林 伯 渠

民國三十二年度陝甘寧邊區政府工作報告

は し が き

本報告書は、本年一月六日に行はれた邊區政府第四回會議席上に於ける、陝甘寧邊區政府主席林伯渠の「陝甘寧邊區政府一年工作總結」の全譯である。本稿は昨年の回顧と本年の任務の二部に分れて居り、第一部では生産運動（合作社生産、人民生産、各軍隊・學校・機關の自給生産）軍民の團結（擁護運動、擁護愛民運動）、防奸運動、精兵簡政政策（精簡、統一、効能、節約、反官僚主義の徹底を目的とする）を、第二部では、經濟的發展、抗戰力の向上、漢奸特務工作の肅正、教育工作の改善、司法工作の改善を逐次的に説明してゐるが、以上の諸項目は決してその一つ一つが別箇の獨立したものではなくして相互依存の關係にあつて新民主主義的政治的基本内容たる十大政策の一部分をなして居り、從つてこの見地からすれば、また所謂「五一」施政綱領の範圍外に出るものではない。しかしながら、本報告書もその結論としてこれ等の諸政策、諸運動を結ぶところの民主的な態度、即ち「民主作風」を擧げてゐる様に、書中の何れの部分を見ても看取し得るのはその民衆化的傾向である。而して更に深く昨年度に於ける諸施策自體を觀察して見ると、從來の諸政策、即ち三三制、選舉

注 意
本通訊は其の材料概ね蔣政權圈内奥地より秘密裡に入手し居るものにして其の入手経路を保護するために出所を秘密にする要あるほか從來の公信報告に代はるものにもあり旁々之が取扱ひには特別の注意を拂はれたし

Table with 2 columns: Title, Author/Editor

制、減租減息、三風肅正等が主として黨自身の基本的な立場の轉換からする政治的な施策であつたに對し、昨年度の諸施策は前述の民衆化的傾向の外にも合作社生産、部隊・學校・機關の自給生産等の經濟的乃至民生的な傾向、或は擁護・擁護愛民運動の如き軍民間の離反防止、防奸工作の如き蔣政權對策等の具體的な側面が極めて顯著となつてゐる。この傾向は、第二部では更に明確となり、漢奸特務工作の肅清、教育工作の改善、司法工作の改善等、表現は相異つてゐても、蔣政權對策たる點に於ては同様である。然らば、かかる諸傾向を生んだものは何であらうか。その原因としては昨年度に於ける具體的な事件、並に現象として第三國際の解散、並にこれを機會としての重慶の對中共攻勢、及び過去六年に亘る慘憺たる抗戰による民生の困窮、財政の窮乏、政府人員の腐敗等を擧げ得る。恐らく中共としては以上の如き惡現象に直面し乍ら一方では重慶側との聯繫による抗日民族統一戰線の堅持を圖るとともに、他方ではその攻勢に備へて軍備の充實、兵力の保存、經濟力の涵養に努め、以つて地方政權としての中共の地盤確保に懸命となつてゐるものと思はれる。この意味に於て陝甘寧邊區の實情を具體的に述べた本報告書は極めて注目すべきものである。なほ本報告書には顯らかに遺漏せるものと推斷される箇所も少なからず、また土語方言の類も多き關係上、必ずしも原文に忠實なるを期さなかつた。但し獨特の用語、特異の土語方言はそのまゝとした。

内容見本 (総目次より)

『特調班月報』総目次

Table with 4 columns: Issue Number, Title, Author/Editor, Page Number

特調班月報・通訊 全4冊—概要

体裁— B4判(第1・2冊)・A4判(第3・4冊)・上製・函入・

四面付・総約1、200頁

解題・総目次を第1冊巻頭に付す

収録— 『特調班月報』1939(昭和14)年9月1日・

1942(昭和17)年5月1日・全27冊・原本総1、973頁

『通訊』1940(昭和15)年9月5日・1944(昭和19)年

3月15日・全74冊・原本総2、626頁

解題— 三好 章(愛知大学教授)

推薦— 本庄比佐子(東洋文庫研究員)

原本提供— 愛知大学国際問題研究所・愛知大学豊橋図書館・東京大学
経済学図書館・東洋文庫・一橋大学経済研究所

配本

第1回配本Ⅱ第1冊(11年7月)本体価格14、000円+税
ISBN978-4-8350-6840-4

第2回配本Ⅱ第2冊(11年8月)本体価格14、000円+税
ISBN978-4-8350-6841-1

第3回配本Ⅱ第3冊(11年9月)本体価格18、000円+税
ISBN978-4-8350-6842-8

第4回配本Ⅱ第4冊(11年10月)本体価格18、000円+税
ISBN978-4-8350-6843-5

価格— 本体揃価格64、000円+税

◎関連図書〔復刻版〕のご案内

興亜院政務部・大東亜省刊

情報 全9冊・別冊1

興亜院は、一九三八(昭和二三)年一二月に日本政府によって設置された、日中戦争下で中国国内の日本軍占領地域をどのように支配するか、そのための中国における政治、経済、文化、政策を立案・実施するための機関である。

雑誌『情報』は、一九三九年九月に興亜院政務部より全76号が発行された。その後、日中戦争がアジア太平洋戦争へと進み占領地域が拡大したのに伴い、一九四二年一月に興亜院や拓務省などを吸収して大東亜省が設置され、同総務局総務課より新たに一九四三年六月から同名の『情報』が発行され、現在一九四五年一月一日発行号まで(全39冊)確認されている。

同機関は、情報収集活動の重点を「防共」に置き、同誌に中国各地で発行された各種新聞・雑誌の記事や、各連絡部、現地官庁の情報を収集報告していた。特に、中国共産党、辺区、新四軍に関する調査報告が多く収集されている点に特色がある。

小社では、興亜院および大東亜省発行の同誌を、四面付けに編集復刻し、新たに、解題・総目次を付して刊行するものである。

B4判・上製・函入・四面付・総3、000頁
別冊Ⅱ解題(三好 章)・総目次

*別冊のみ分売可Ⅱ本体価格1、000円+税
本体揃価格136、000円+税

ISBN978-4-8350-6256-3

表示価格は全て税別

不二出版

〒113 0023 東京都文京区向丘一・二・三
TEL 03-3811-4433
FAX 03-3811-4464
振替 001601194084